

附川古墳群(東松山市)

附川1号墳(東松山市)

正面は東松山市立南中学校で、この校内に附川1号墳がある



中央に古墳の場所が記されている

南中学校案内図



これが附川1号墳



胴張りのある凝灰岩質砂岩の切石組積横穴式石室をもつ円墳/7世紀初頭から中葉にかけての築造という



附川 1 号 墳



附川1号墳は、この付近に多くある古墳(附川古墳群)の一つです。市立南中学校の敷地内にあり、昭和33年に学校建設のため発掘調査されました。この古墳は、直径13m、高2・4mの円墳です。内部主体(埋葬のための施設)は、凝灰岩質砂岩の切り石を使用した横穴式石室です。この石室は、奥室と前室とに分かれていて、奥室の両側壁が丸く、くぐらんでいるのが特徴です。石室の大きさは、全長約6m、幅2・8mです。(奥室の奥行2・95m、最大幅2・85m、前室の奥行1・5m、最大幅1・95m)

この古墳からは、鉄銚、装身具(金環・玉類)及び人骨が出土しています。附川古墳群の周辺には数多くの遺跡が点在しています。附川遺跡(縄文時代後期)は、附川古墳群と重なっています。南中学校庭には、方形周溝墓と呼ばれる墳丘のない古墳があります。

昭和五十四年三月

東松山市教育委員会



石室入口手前の足元には石が敷かれている







この石は何だろうか







参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/matuyama/tuki1.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/34_mtym/tsuki1.html

<http://www.jpn-hayashi.com/cgi-bin/pjdetail.cgi?mode=&choice0=k1402370&title0=%95%8D%90%EC1%8D%86%95%AD&printer=%83u%83b%83N&photoview=26&column=24>

附川10号墳(東松山市)

ここが定宗寺





お約束の六地藏



八角堂



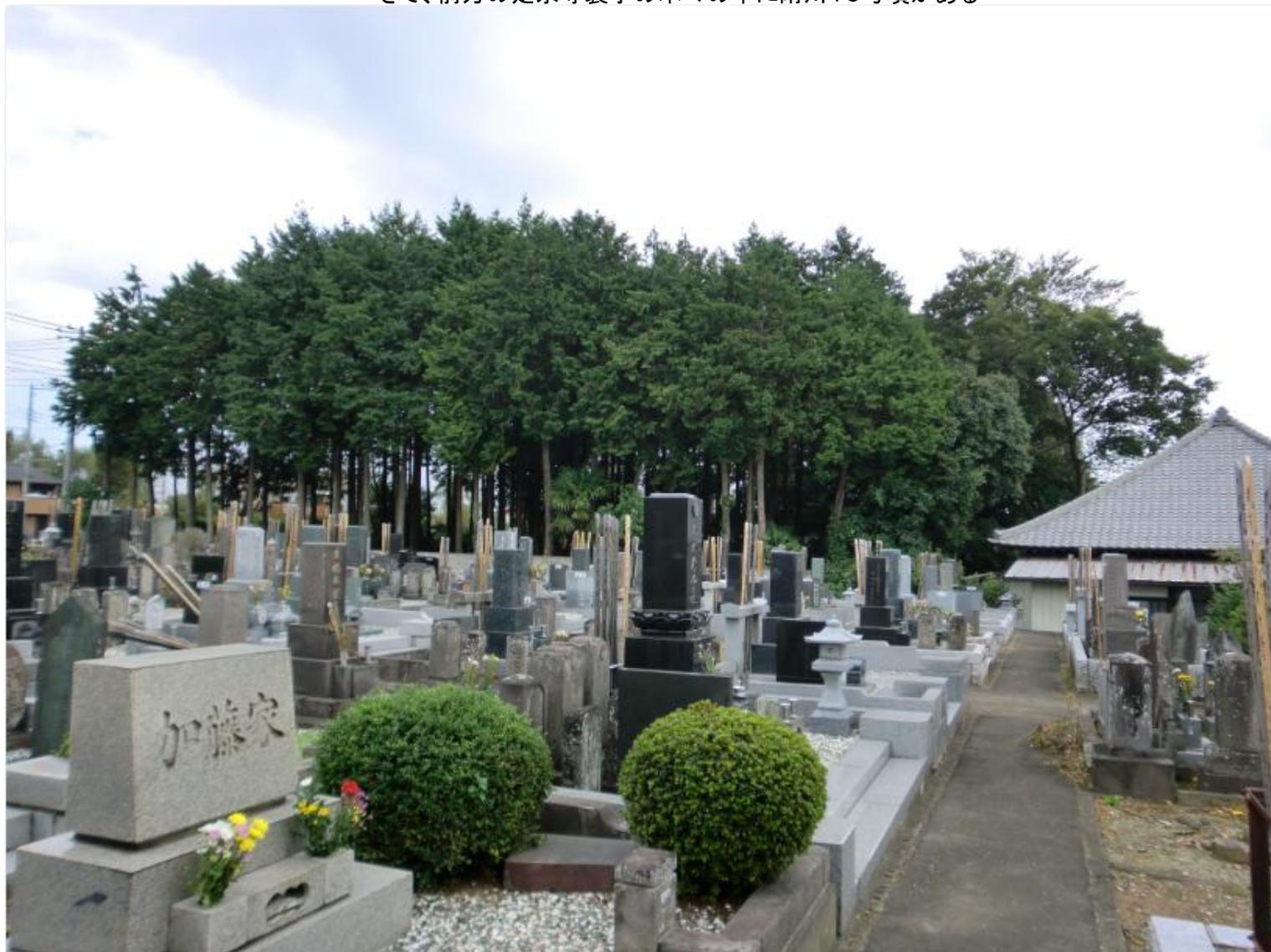
鐘樓



鐘楼の足元



さて、前方の定宗寺裏手の木々の中に附川10号墳がある



この中に入る



前方にわずかな高まりが見える



これが附川10号境/田境



7世紀初頭から中葉にかけての築造という







附川11号墳(東松山市)

遠方の雑木林の中に附川11号墳がある



アップで見る



洗濯物の向こうに墳丘が見える



アップで見る



裏手に廻ってみる/前方に墳丘が見える



近づいて見る



南中学校とは関越道を挟んで反対側、酒屋の斜め対面の民家敷地内にある/7世紀初頭から中葉にかけての築造という円墳



附川12号境(東松山市)

南中学校前交差点から関越道をくぐってすぐ右折し、側道を歩いて行くとすぐに日本トランシティの建物が見えてくる



その手前に左に入る道があり、曲がってすぐに附川12号墳の墳丘の裾が見える/正面の高まり



この様に境丘の裾がはみ出している





全体の高まりが見てとれる



境頂には祠がある









竹藪の中を見渡してみる



別な高まりが見える



竹藪全体を裏手から見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/matuyama/tuki10.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/34_mtym/tsuki2.html



↑
南中学校